

# 一般財団法人 語学教育研究所主催 2020 年度講習会のご案内

対面の講座は定員を大幅に減らし、いくつかの講座はオンライン講座に変更して実施します。  
このプログラムは随時更新してまいりますので、ウェブサイトでご確認の上、お申し込みください。  
(2020.7.26)

## 英語授業の「型」づくり

時代が変わっても基本的な授業の「型」に変わりはありません。オーラル・イントロダクションを核とした授業の基礎的な指導技術を4回シリーズで学びます。続けて参加しやすいよう、夏と春の長期休業中に集中して実施します。1コマだけの受講も可能です。

夏期（オンライン講座に変更）上段が 10:30～12:00、下段が 13:00～14:30

8月13日（木）	1. 授業づくりの基礎・基本	望月 正道
	2. 導入（文法事項中心）から言語活動まで	小菅 敦子
8月14日（金）	3. 題材中心の英語導入法	八宮 孝夫
	4. 音読から話す活動へ	淡路 佳昌

春期（実施方法未定）

3月26日（金）	1. 授業づくりの基礎・基本	浅野 伸子
	2. 英語で教える文法 導入から言語活動まで	久保野 りえ
3月27日（土）	3. 導入（題材内容中心）	山崎 勝
	4. 音読から話す活動へ	吉田 章人

赤字は、オンライン講座への変更が決定したもの、または内容を変更したものです。

## ア・ラ・カルト講座

1回完結のセミナー・ワークショップです。時間は各回の詳細をご覧ください。

9月6日（日）	① 学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業作り	草間 浩一
9月13日（日）	② テストを変えたい先生方への最初の処方箋	根岸 雅史
9月20日（日）	③ 英語を苦手とする生徒も発表活動に導く授業を目指して	江原 一浩
9月21日（月祝）	④ フォニックスーふだんの授業での活用法	手島 良
9月22日（火祝）	⑤ 学習者の“できる感”及び習熟度の相関と教師の指導観との関係	相田 眞喜子 久埜 百合
9月27日（日）	⑥ 発音指導の心・技・体	静 哲人
10月4日（日）	⑦ 文法問題をもっと楽しく	松原 知子
10月11日（日）	⑧ 50分の授業の作り方	矢田 理世
10月25日（日）	⑨ 小・中学校のICT環境整備が進む中での授業のあり方を考える	久埜 百合
12月6日（日）	⑩ ライティング指導の第一歩：どのように取り入れ、どのように評価するか	馬場 千秋
12月13日（日）	⑪ 「ねらい」と「評価」—小学校英語ではどのような力を育てたいのか—	入江 潤
12月20日（日）	⑫ 話すことの活動の効果的な指導	千田 享
1月10日（日）	⑬ 題材内容中心の授業の作り方	日高 由美子
1月11日（月祝）	⑭ 英語の発音と発音指導を見直す—リズムと音連結を中心に—	小菅 和也
2月11日（木祝）	⑮ ことばへの気づき：音声・文字指導のヒント	河村 和也
2月14日（日）	⑯ 指導手順を見直す	田島 久士
2月21日（日）	⑰ 検定教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法	曾根 典夫
2月23日（火祝）	⑱ iPad を使って授業をしよう！	草間 浩一
3月7日（日）	⑲ パフォーマンス課題と評価 ～その実践と留意点～	中山 健一
3月20日（土祝）	⑳ 小学校英語 完全実施元年をふりかえる	粕谷 恭子
3月21日（日）	㉑ 単語の意味の伝え方	砂谷 恒夫

## 英語授業の「型」づくり

## ア・ラ・カルト講座

対面による講座の場所：（一財）語学教育研究所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-36-13 サザンパレス西日暮里 102 号室

TEL 03-5901-9214 FAX 03-5901-9215

定員：対面による講座（6名） オンライン講座（各回ごとに設定）

参加費：対面による講座 会員 3,000 円（会員の学生は 1,000 円） 一般 5,000 円 学生 2,000 円

オンライン講座 会員 1,000 円 一般 3,000 円（学生の場合はそれぞれ半額）

申込み：語研ウェブサイトの「講習会」からお願いいたします。 <http://www.irlt.or.jp/>

\*\*\*\*\*

## 英語授業の「型」づくり 内容詳細

夏期 第1回 「授業づくりの基礎・基本」 8月13日（木）10:30～12:00 **オンライン（20名）**

講師：望月 正道（麗澤大学）

この講座では、目標設定、音声から文字へ、受容的スキルから産出的スキルへという英語指導の基礎基本を第二言語習得研究の考えをもとに理解します。この考えをもとに英文教材を使って英語5領域を英語で教える指導について考えます。

夏期 第2回 「導入（文法事項中心）から言語活動まで」 8月13日（木）13:00～14:30

**オンライン（20名）**

講師：小菅 敦子（東京女子大学等非常勤講師・元東京学芸大学附属世田谷中学校教諭）

文法を教えるとは、単に明示的にルールを説明することだけではありません。日々の授業でどのように扱えばよいのでしょうか。中学校での実演をもとに、1つの新出文法事項を学習者が実際の言語使用の場面で使えるようにするまでの方法と考え方を共有したいと思います。

夏期 第3回 「題材中心の英語導入法」 8月14日（金）10:30～12:00 **オンライン（20名）**

講師：八宮 孝夫（筑波大学附属駒場中高等学校）

その日扱う本文の語彙表現や構文を絡めながら、いかに学習者を教材に引き込んでいくかを例示し、一緒に考えます。中3の実践も含める予定です。コロナ禍の中で初のオンライン授業も経験しました。状況は違えど、導入の原則は変わらないことも実感しました。それも話題にします。

夏期 第4回 「音読から話す活動へ」 8月14日（金）13:00～14:30 **オンライン（20名）**

講師：淡路 佳昌（大東文化大学）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

春期講座の実施方法は未定です。

\*\*\*\*\*

### 春期 第1回 「授業づくりの基礎・基本」 2021年3月26日(金) 9:30~12:30

講師：浅野 伸子（東京都立小山台高等学校）

授業で行う各活動にはそれを行うべき裏づけがあります。どのような活動をどのような手順で組み合わせて1時間の、1学期間の、そして1年間の授業を作るのか、その基礎・基本について考えます。4回にわたるシリーズの「導入・概論」にあたる講座です。

### 春期 第2回 「導入（文法事項中心）から言語活動まで」 2021年3月26日(金) 13:30~16:30

講師：久保野 りえ（筑波大学附属中学校）

文法を英語で教えても生徒は理解できないのでは？という不安の解消を目指した講座です。どのように導入すれば、英語の知識の少ない生徒でも理解できるのか。文法導入の仕方のコツを実演で見てください。英語・日本語それぞれの使いどころ、練習や言語活動を具体的に考えながら、基本の流れや留意点を取り上げます。新年度からの文法指導の指針にしていいただければと思います。

### 春期 第3回 「導入（題材内容中心）」 2021年3月27日(土) 9:30~12:30

講師：山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校）

Oral Introduction により題材内容を導入した後、生徒の習熟度に応じた方法で、板書内容を使って生徒に Story Retelling を行わせる指導手順をご紹介します。併せて、Retelling にとどまらず、題材内容に関して生徒に意見を言わせるための Oral Work を提案します。

### 春期 第4回 「音読から話す活動へ」 2021年3月27日(土) 13:30~16:30

講師：吉田 章人（日本女子大学附属高等学校）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

\*\*\*\*\*

## ア・ラ・カルト講座 内容詳細

### ① 「学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり」 9月6日(日) 13:30~15:00

講師：草間 浩一（武蔵高等学校中学校） **オンライン (40名)**

「学びのユニバーサルデザイン (UDL)」では、学習者一人一人が違うことを前提に、個々の違いに合った学習が出来るような工夫を考えます。障害も持っているのは学習者ではなく、カリキュラムの方だと捉え、解決策を考えます。UDLの基本の理解から始め、この考え方を取り入れると、何が出来るのか、何が変わるのかをご一緒に考えることで、授業作りのヒントを共有しましょう。

### ② 「テストを変えたい先生方への最初の処方箋」 9月13日(日) 13:00~14:30

講師：根岸 雅史（東京外国語大学大学院） **オンライン (20名)**

授業と密接に結びついた定期試験は、教師にとっても生徒にとっても授業の振り返りに資する必要があります。そのために、現状の定期試験にはいくつか改善すべき点があります。この講座では、その改善に向けての第一歩となるテストの構成について考察します。実例などを参照しながら、改善策を模索していきます。

③ 「英語を苦手とする生徒も発表活動に導く授業を目指して」 9月20日(日) 13:00~14:30

講師：江原 一浩 (筑波学院大学)

オンライン (10名)

英語を苦手とする学習者を授業に参加させ、総合的、統合的、段階的、個人的な活動を設定して、いかに最終目標とする生産活動である要約、リプロダクション・リテリング活動までいかに導くのか。その指導方法と授業展開を皆さんと共有したいと思います。学習者達の可能性を導き出し、拙いながらも自己表現することに取り組み、達成感を味わう機会を与えてみませんか。【対象：英語が不得意・苦手意識を抱いている生徒達を教えている高校、大学の教員】

④ 「フォニックス—ふだんの授業での活用法」 9月21日(月祝) 13:00~15:00

オンライン (20名)

講師：手島 良 (武蔵高等学校中学校)

英語の綴りと発音の間には、それなりに規則はあるのですが、かなり複雑です。そのため、その指導(フォニックス)は書かせません。けれども、複雑ゆえに、一度教えれば身につく、というものでもありません。日々の授業の中で、どれだけしつこく繰り返してその規則に触れさせるかが大切です。規則が定着するだけでなく、生徒が綴りを覚えやすくなり、発音も向上する、そんな指導法をご紹介します。

⑤ 「学習者の“できる感”及び習熟度の相関と教師の指導観との関係」 9月22日(火祝)

13:00~14:30

オンライン (40名)

講師：相田 眞喜子 (田園調布雙葉小学校) ・久埜 百合 (中部学院大学)

「英語ノート」「Hi, friends!」「Let's Try!と We Can!」を経て、2020年度から各地域で採択した検定教科書で小学校の授業が行われる。小学校英語の授業のパターンができつつあるこの時期に、2009年度以来調査を続けている、子どもの“できる感”と英語の習熟との相関と教師の指導観との関係性を紹介して、子どもたちが学ぶ英語が中学英語にどのように引き継がれていくか、をご一緒に考えたい。

⑥ 「発音指導の心・技・体」 9月27日(日) 13:00~14:30

オンライン (20名)

講師：静 哲人 (大東文化大学)

効果的に発音指導を行うためには、World Englishes の時代においてなぜ発音が重要なのかについての確信 [心]、授業中に他にスキルと絡めて指導する技術 [技]、そしてそれを支える自らの発音力 [体] が不可欠です。分節要素を支配するとも言われるプロソディも含めて発音指導の心技体を実習します。手元に静哲人(2019)『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』(テイエス企画)があると便利です。

⑦ 「文法問題をもっと楽しく」 10月4日(日) 13:00~14:30

オンライン (40名)

講師：松原 知子 (成蹊大学)

文法の問題集に載っている問題の多くは、学習者にとって面白みのない課題でしょう。必要な練習だと理解していても、無味乾燥な問題文を読まねばならず、それで英語ができるようになると実感できないという人が多いのではないのでしょうか。そんな文法の練習問題を、どのような工夫によって、より魅力的で効果的な課題にできるか、参加者のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

⑧ 「50分の授業の作り方」 10月11日(日) 13:00~14:30

オンライン (20名)

講師：矢田 理世 (筑波大学附属高等学校)

新任の教員や学生など経験の浅い方を対象に、中学・高校の50分の授業の構成を考える講座です。授業を楽しく効果的に展開し、さらに生徒達の学びを保障するためには、活動内容とその順序、時間配分が肝心です。これまで語研が積み上げてきた研究をもとに、授業構成のポイントを提案します。参加者で悩みやアイデアを共有する時間も持ちます。教室を出る際に「今日の英語はやかったねー」と聞こえてくる授業を目指しましょう。

⑨ 「小・中学校の ICT 環境整備が進む中での授業のあり方を考える」 10月25日(日)

講師：久埜 百合 (中部学院大学) 13:00~14:30 **オンライン (40名)**

小・中学校へパソコン約 1000 万台導入 (児童・生徒数約 930 万人) することが 2019 年 12 月 5 日に閣議決定されたという報道がある。電子黒板の設置は、電子黒板そのものの進化と共に機種も多様で、普及の状態も数字では表しにくいですが、着々と最新機種が設置され始めている。教師が電子ボードを活用し、学習者はタブレットを操作して授業が行われるようになり、持ち帰りタブレットで自宅学習も可能になると、習熟はどう進むか。先進的な私立小学校の実践と、僻地の公立小学校での実践を紹介し、デジタル教材の可能性について考えたい。

⑩ 「ライティング指導の第一歩：どのように取り入れ、どのように評価するか」 12月6日(日)

講師：馬場 千秋 (帝京科学大学) 13:00~16:00

「ライティング指導は難しい」という印象をお持ちの方は多いと思います。本講座では、日常の授業の中で実際の検定教科書を用いて行う指導、投げ込み教材等を使った指導、帯活動として取り入れていく指導などを紹介します。また、フィードバック方法と評価方法についても具体例を提示します。

⑪ 「『ねらい』と『評価』—小学校英語ではどのような力を育てたいのか?—」 12月13日(日)

講師：入江 潤 (明星<sup>みょうじょう</sup>学園小学校) 13:00~16:00

新学習指導要領が施行され高学年での外国語教育が始まった中、皆さんは何をどのように評価していらっしゃいますか? 「評価」のためにははっきりとした「ねらい」が必要ですよね。この機会に「どのような力を育てたいのか」を改めて見つめ直し、評価について考えてみませんか。当日は、実際の授業を映像で見て子どもたちの反応を取り上げたりしながら、評価について考えます。

⑫ 「話すことの活動の効果的な指導」 12月20日(日) 13:00~16:00

講師：千田 享 (埼玉県立浦和西高等学校)

話すこと (発表・やり取り) の活動を行うには、どのように英語で本文を導入しておけばよいのか、導入の後の説明や音読などは、どのように行えばスムーズに発表につながるのかについて考えます。コミュニケーション英語だけではなく、英語表現の授業における工夫も扱います。【対象：中・高教員】

⑬ 「題材内容中心の授業の作り方」 2021年1月10日(日) 13:00~14:30 **オンライン**

講師：日高 由美子 (東京都立立川国際中等教育学校)

現在勤務している立川国際中等教育学校には、海外経験のある生徒がたくさんいます。そんな生徒と一緒に授業を作っていくためには、教師の側もかなり周到に準備をしていく必要があります。具体的には、教科書の題材を実社会で起こっている問題と関連して考えさせることを意識しています。今回の講座では、コミュニケーション英語の授業を見ていただき、どのように題材内容中心の授業を作っていくかを紹介いたします。

⑭ 「英語の発音と発音指導を見直す —リズムと音連結を中心に—」 2021年1月11日(月祝)

講師：小菅 和也 (武蔵野大学) 13:00~16:00

英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、まず、英語のリズム (特に弱形に注目) と単語間の音連結を取り上げます。さらに、母音や子音など個々の音素を取り上げ、あわせて、発音補助としてのカタカナ表記の活用にも触れたいと思います。教材としては、語、短文、実際の教科書教材、その他の材料も含めてさまざま提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視したいと思います。

⑮ 「ことばへの気づき：音声・文字指導のヒント」 2021年2月11日（木祝）13:00～16:00

講師：河村 和也（県立広島大学）

無意味だったはずの音の連続が、意味を持った言語の音声になるのはなぜなのでしょう。文字が他の絵や図形と区別されるようになるのはどうしてなのでしょう。そして、そのことを理解したり体験したりすることは、私たちがことばを身に付けていく上でどのような意味を持つのでしょうか。このようなことを考えることを通じ、英語や日本語の枠組みにとらわれることなく広く「ことばへの気づき」を扱い、初学者を意識した音声指導と文字指導の土台となる知識を固めたいと思います。

⑯ 「指導手順を見直す」 2021年2月14日（日）13:00～16:00

講師：田島 久士（東京都大田区立糎谷中学校）

検定教科書を使って、オーラルワーク中心で、1時間の授業をどのように組み立てていったらよいかを考えます。授業の進め方について悩んでいる新任や中堅・ベテランの中学校・高等学校の先生方を対象にします。また、一単元の指導計画や教材研究についても触れたいと思います。

⑰ 「検定教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法」 2021年2月21日（日）13:00～16:00

講師：曾根 典夫（筑波大学附属高等学校）

「これができたら、お菓子、シール・・・」本当にこれで良いのか。生徒のモチベーションを高めるには何が必要か、学習効果を最大にする仕掛けは何があるのか。理論を踏まえながらその方法をお伝えします。例) 1.覚えるのが得意なのはどちら？ 2.学習効果を最大にする仕掛け 3.褒め言葉のバリエーション等。

⑱ 「iPad を使って授業をしよう！」 2021年2月23日（火祝）13:00～16:00

講師：草間 浩一（武蔵高等学校中学校）

iPad を授業に取り入れ、Keynote (iPad や iPhone に付属しているプレゼンテーションソフト) を活用するためのノウハウを紹介します。もちろん PowerPoint を使っても基本的な考え方は応用できます。Keynote を使うことで生徒一人一人の違いを意識した、合理的配慮の考え方を取り入れた授業をより簡単に作ることができます。授業のユニバーサルデザインを意識した授業作りをご一緒に考えましょう。

⑲ 「パフォーマンス課題と評価 ～その実践と留意点～」 2021年3月7日（日）13:00～16:00

講師：中山 健一（桐朋中学高等学校）

英語の言語知識を学び、これを活用するパフォーマンス課題の必要性が高まっています。教科書を利用した課題から教科書を離れた発展的な課題までどのようなパフォーマンス課題が可能かを考えます。また、評価時に注意すべきことを話題にし、後の授業に生かすことを目指します。課題の作成のため、普段使われている教科書をお持ちください。

⑳ 「小学校英語 完全実施元年をふりかえる」 2021年3月20日（土祝）13:00～16:00

講師：粕谷 恭子（東京学芸大学）

3・4年生に「外国語活動」、5・6年生に「外国語科」が導入されました。実際に何が起こり、どのような成果や課題が見えているのか整理して、完全実施2年目に備えたいと思います。小学校だけでなく、中学校の先生方のご参加も大歓迎です。実効性の高い小中連携のための方策をご一緒に考えましょう。

㉑ 「単語の意味の伝え方」 2021年3月21日（日）13:00～16:00

講師：砂谷 恒夫（元東京都立高等学校）

私が学生の時、外国人の先生が黒板に細長い生き物の絵を描き、「eel」と書いて、英語で何か言いました。私は「ミミズ」だと思いました。（本当は「ウナギ」でした。）絵や写真やジェスチャーで意味を正しく伝えるのは意外と難しいものです。また、易しい英語で言い換えるのも易しくはありません。単語の意味の伝え方について具体的に考えましょう。ワークショップ形式。（昨年度と内容重複）